

内視鏡下ヘルニア摘出術を受けられる患者様へ

患者ID


フリガナ

患者名

主治医

担当医

受持看護師

	手術当日（帰室してから）	術後1日目	術後2-7日目
目標	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。 安静を守ることができる。	歩行器を使用して歩くことができる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。	歩くことができる。 装具の必要性を理解でき、確実に装着することができる。
治療処置			創には防水の絆創膏を貼ります。 術後2日目に創の所に入っている管を抜きます。術後7日目に抜糸を行います。 歩行開始した翌日にストッキングを外すことができます。
点滴内服薬	持続的に点滴をします。 	朝より、手術前に飲んでいた薬を再開して内服します。 点滴は夕方には終了します。	
検査		採血を行います。	術後3日目に血液検査を行います。 術後4日目にCTの検査を行います。 
安静度	手術後はベッド上安静です。 ベッドは30度まで上げることができます。 腰の痛みなどある場合は看護師に声をおかけ下さい。 看護師が枕を入れたり、体を横に向けたりいたします。	マックスベルトを装着して、ベッドや椅子に座ったり、痛みに応じて歩行器を使って歩くことができます。 歩く時には、点滴や血抜きの管に注意して下さい。	
食事	当日は食事を摂ってはいけません。 	朝、お腹の動きが良ければ（ガスが出れば）水分を摂ったり、食事ができます。 おかゆを希望される方はお申し出下さい。	
清潔		看護師が体を拭きます。	術後3日目からシャワーを浴びることができます。看護師が座位着脱について指導を行います。
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。	歩けるようであれば、尿の管を抜いてトイレに行くことができます。	
説明	医師より手術についての説明があります。 痛みがある時は遠慮なく声をかけて下さい。 	 何でもご相談ください	退院や転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について看護師が説明します。
その他			退院おめでとうございます！